

安全対策 ～子どもたちの安全確保を図るために

教育委員会では子どもたちの安全確保を図るためさまざまな安全対策に取り組んでいます。

学校情報配信システム

不審者情報等を、保護者の携帯電話等に電子メールで配信しています。

スクール安全ステーションの設置

児童安全推進員が学校に常駐して、学校を訪れる保護者や業者の方等に来校者名簿の記載や名札の着用について協力を求め、窓口での来校者確認や案内等を行っています。常に不審者等が学校に侵入しないよう注意して児童の安全を守っています。



交通指導員の配置 学校安全パトロール員の配置

全小学校で低学年の下校時に付き添う学校安全パトロール員や通学路上に交通指導員を配置し、児童の安全を確保しています。

防犯ブザーの配布

小学校に入学する1年生の児童に防犯ブザーを配布しています。

防犯カメラの設置

教育委員会では、都の補助金を活用し、全小学校の通学路に防犯カメラの整備を進めています。平成28年度には、全小学校の通学路に120台の防犯カメラの設置を完了する予定です。

また、平成27年度に創設された都の補助制度を活用し、平成18年度に各区立幼稚園及び小中学校に設置した防犯カメラを解像度の高い最新の防犯カメラに更新しました。



防災ジュニアリーダーの育成 ～区内の全公立中学校に 防災部を創設

助けられる人から助ける人へ

平成27年4月に全中学校（10校）に防災部を創設しました。「自分たちの町は自分たちで守る」という意識や思いやりの心を醸成し、地域の防災・減災活動に貢献したり、「助けられる人から助ける人へ」という自助・共助の意識を育み、今、自分たちがどのようなことができるかを考えたりしながら活動しています。



地域を大切にしようとする心と感謝する心

平成27年度は、308人の生徒が防災部に入部しました。多くの防災部員は、他の部活動と兼部をしながら活動していますが、参加方法や活動内容は、各校の実情に合ったものとなっており、さらに、部員増も見込まれるとともに、地域の方々とのかわりにより、地域を大切にしようとする心と感謝する心が確実に育っています。



各校独自の特色ある取り組み

避難所開設訓練や夜回り活動、リヤカー訓練隊活動など、各中学校で特色ある活動を展開しています。

今後の展望

平成28年度は、荒川・尾久消防署が仲介役となり、区内の14の消防団が顧問という立場で、全校の防災部を支援いただくことになりました。中学生と消防団の絆を深めることで、地域で活躍する大人を手本とし、将来地域の防災リーダーや消防団員を志す人材を育成していきます。